

平成 20 年度
事業報告書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

目 次

総 括

I 法人の概況	1
II 事業の状況	
1. 事業の実施状況	
「施設プログラムサービス」	
（1）施設の運営管理	2
ア. 指定管理施設	2
イ. 運営管理における重点項目	5
（2）講習会・教室、大会・セミナー等の開催事業	6
（3）スポーツ・運動指導及び指導者の育成事業	8
（4）健康・体力づくり相談事業	8
（5）健康・スポーツ情報提供及び調査研究事業	9
（6）社会貢献事業	9
（7）学校施設の開放と講習会等の開催事業	9
（8）物品販売・貸付及び飲食店業	9
（9）財団統合に伴う新規事業	10
「広域プログラムサービス」	
（1）スポーツ・健康づくりイベント、講習会等の開催事業	11
（2）ウインタースポーツ・レクリエーション活性化事業	12
（3）総合型地域スポーツクラブの育成支援事業	13
（4）協力・支援事業	13
2. 役員会等に関する事項	
（1）理事会	13
（2）評議員会	14
3. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移	14
4. 公認会計士の関与の有無	14

総括

平成 20 年度は、利用者サービスの向上、施設運営の効率化、事業の安定化と新規分野への取り組み強化を重点目標とし、指定管理施設の運営管理及びスポーツ・健康づくりに関わる各種事業の積極的な推進に努めました。

事業の実施に当たっては「施設プログラムサービス」と「広域プログラムサービス」に事業領域を区分し、多彩なスポーツ・健康づくり教室やイベントなど、子どもから高齢者向けの事業を約 6,500 件実施し、14 万 7,000 人の参加者にスポーツの楽しさや健康の大切さ、また、自然とのふれあいなど、多様化するライフスタイルに呼応したスポーツ及び健康づくりのプログラムを提供いたしました。

施設プログラムサービスでは、各種教室事業の開催の他、近隣地域コミュニティの活性化を目的とした各種フェスティバルや健康セミナーの開催及び運営支援、また、地域住民を対象に救急救命講習会（AED 他）などを積極的に実施いたしました。

広域プログラムサービスにおいては、スポーツ大会への参加者数が総体的に増加し、特に札幌マラソンは、前年度に比べて 2,000 人（20.6%）増の 1 万 2,600 人と大幅な伸びを見せました。

また、新たに北海道健康サメットなどの大規模健康フェスティバルに共催・後援団体として参画し、体力測定や健康相談コーナーを開設するとともに財団の活動を紹介するパネルの展示や DVD 映像などにより、財団及び管理施設を PR いたしました。

当該年度は、財団統合 2 年目を迎えた実質的な稼働年として、スポーツ及び健康づくり施設、設備の特徴と双方の専門スキルを活用し、各種の運動教室や健康・体力測定などを実施いたしました。

また、健康づくりセンターと体育館や温水プールなどの相互利用の促進とサービスの向上を目的としたネットワークサポートシステム（利用者の健康度測定等の結果や運動プログラムデータの共有化）については、平成 22 年度の本格稼働に向け基礎設計を完了いたしました。

各施設の利用状況としては、未曾有の景気悪化を背景に大型スポーツ大会やイベント利用が減少したため、専用利用料収入は前年度と比べて 1,204 万円（4.2%）減の 2 億 7,175 万円、個人利用料収入においても 348 万円（0.7%）減の 5 億 450 万円、合計で 1,552 万円（2.0%）減の 7 億 7,625 万円となっております。

また、利用者数は、個人利用が 1 万 5,000 人（0.4%）増の 338 万 2,000 人、専用利用が 22 万 7,000 人（11.6%）増の 169 万 5,000 人、合計で 24 万 2,000 人（5%）増の 507 万 7,000 人となっております。

指定管理施設の特記事項として、体育館グループでは、一部の施設で前年度実績を下回ったものの、全体の利用者数は前年度と比べて4万3,000人(2.4%)増の185万人となっております。

増加要因としては、利用者ニーズに合わせた種目の設定や、魅力ある教室プログラム提供への取り組みが評価されたこと、また、白石区体育館、清田区体育館・温水プール、南区体育館のトレーニング室リニューアルが好評であったことが考えられます。

温水プールグループでは、利用者数が1万5,000人(2.1%)減の70万1,000人となりました。これは、全国規模の大会などが中止となったことや冷夏の影響を受けたものと考えております。

スポーツ交流施設は、さっぽろ雪まつり第2会場となり非常に盛況だったことから、専用利用者数が26万2,000人(66.4%)増の65万7,000人となり、個人利用者数と合わせて76万3,000人となっております。

健康づくりセンターでは、すこやか健診事業の廃止と特定健診事業開始の遅れなどがありました。新規事業の実施等で利用者数は7,000人(3.5%)増の21万1,000人となっております。

また、財団法人日本体育施設協会において全国的に実施されている指定管理者の基礎評価が、当該施設を対象として10月に行われ、平成19年度の運営状況について、8グループ(29施設)中、5グループ(25施設)が最高評価「AAA」、2グループ(3施設)が「AA」に認定されたところです。なお、藤野野外スポーツ交流施設は、評価対象期間中、札幌市のモデル事業が実施されていたため除外されております。

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和59年4月1日

2. 寄附行為に定める目的

本財団法人は、札幌市におけるスポーツの普及振興及び健康づくり活動の支援のために必要な事業を行なうとともに札幌市の設置するスポーツ施設及び健康づくり施設の管理運営に関する事業を行い、もって本道におけるスポーツの振興及び道民の健康増進に寄与することを目的とする。

3. 寄附行為に定める事業内容

- ① スポーツの普及振興及び健康づくり活動の支援を図るための講演会、講習会、教室及び大会等の開催並びに他のものを行うこれらの催しへの協力に関する事
- ② スポーツ及び健康づくりに関する指導者の育成及び登録派遣に関する事
- ③ スポーツ及び健康づくりに関する調査研究及び情報提供に関する事
- ④ 健康、体力づくりの相談に関する事
- ⑤ 札幌市からの指定を受け、各種スポーツ施設及び健康づくり施設の管理運営を行う事
- ⑥ 札幌市からの委託を受け、各種スポーツ事業及び健康づくり事業を行う事
- ⑦ その他前各号に掲げる事業に附帯する事業

4. 所管官庁に関する事項

北海道教育庁 総務政策局総務課

5. 主たる事務所

札幌市中央区中島公園1番5号 札幌市中島体育センター内

6. 役員及び評議員に関する事項

平成20年度末現在役員等

役職	氏名	当初就任年月日	就任年月日	手当	職業
理事長	波田 正明	19. 7. 1	20. 4. 1	有	当法人役員
常務理事	山本 俊明	19. 4. 1	20. 4. 1	無	当法人役員兼事務局長
常務理事	阿曾 和紀	20. 4. 1	20. 4. 1	有	当法人役員
理事	川端 絵美	12. 4. 1	20. 4. 1	無	会社役員
"	渋川 正俊	20. 7. 1	20. 7. 1	無	
"	中村 法子	12. 10. 1	20. 4. 1	無	会社役員
"	林 るみ子	20. 4. 1	20. 4. 1	無	
"	上埜 光紀	19. 4. 1	20. 4. 1	無	耳鼻咽喉科院長
"	藤田 一雄	19. 4. 1	20. 4. 1	無	歯科院長
"	筒井 裕之	19. 4. 1	20. 4. 1	無	北海道大学教授
"	三浦 洋嗣	19. 4. 1	20. 4. 1	無	調剤薬局代表取締役社長
"	川初 清典	19. 4. 1	20. 4. 1	無	北海道大学教授
"	若山登美子	19. 4. 1	20. 4. 1	無	団体役員
"	西島 宏隆	19. 4. 1	20. 4. 1	無	医師
"	片岡 勲	20. 1. 1	20. 4. 1	無	団体役員
監事	高場 健司	20. 4. 1	20. 4. 1	無	社会保険労務士
"	吉沢 政昭	20. 7. 1	20. 7. 1	無	札幌市財政部長
評議員	阿部 吉隆	16. 8. 1	19. 4. 1	無	北海道新聞社
"	山内 三雄	20. 7. 1	20. 7. 1	無	朝日新聞北海道支社
"	小林 俊勝	17. 4. 1	19. 4. 1	無	団体役員
"	中出 隆	19. 4. 1	19. 4. 1	無	
"	石崎 悦郎	19. 4. 1	19. 4. 1	無	読売新聞北海道支社
"	鷺澤洋一郎	19. 4. 1	19. 4. 1	無	陸上自衛隊
"	武井 文夫	19. 4. 1	19. 4. 1	無	札幌市観光文化局スポーツ部長
"	黒川 正博	19. 4. 1	19. 4. 1	無	天使大学非常勤講師
"	石井 泰子	19. 4. 1	19. 4. 1	無	
"	高橋 高志	19. 4. 1	19. 4. 1	無	札幌市保健福祉局保健所健康企画部長

〃	侘美 靖	19. 4. 1	19. 4. 1	無	北海道文教大学教授
〃	山本 愛子	19. 4. 1	19. 4. 1	無	学識経験者
〃	晴山 紫恵子	19. 4. 1	19. 4. 1	無	北翔大学短期大学部副学長

7. 職員に関する事項（平成20年度末現在）

職種・職員数	
プロパー職員（男性）	107人
〃（女性）	25人
派遣職員（男性）	1人
嘱託職員（男性）	67人
〃（女性）	59人
臨時職員（男性）	17人
〃（女性）	8人
パート職員（男性）	240人
〃（女性）	381人
合計	905人

8. 許認可に関する事項

平成20年3月31日資産の総額変更（H20. 7. 17登記）

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

【施設プログラムサービス（指定管理施設を中核として展開する事業プログラムの提供）】

(1) 施設の運営管理（指定管理事業）

*寄附行為第4条第5号に掲げる事業を、札幌市から指定を受けて次のとおり実施した。

ア. 指定管理施設

①札幌市体育館グループ

(単位：人)

区分（開館日数）	個人利用	専用利用	合計
北 区 体 育 館 (347日)	125,019 (1日平均 360.3人)	33,998 (534件)	159,017 (1日平均 458.3人)
東 区 体 育 館 (350日)	117,202 (1日平均 334.9人)	27,850 (435件)	145,052 (1日平均 414.4人)
白 石 区 体 育 館 (347日)	137,736 (1日平均 396.9人)	34,850 (606件)	172,586 (1日平均 497.4人)
厚 別 区 体 育 館 (347日)	118,079 (1日平均 340.3人)	29,146 (640件)	147,225 (1日平均 424.3人)
豊 平 区 体 育 館 (347日)	86,820 (1日平均 250.2人)	38,866 (463件)	125,686 (1日平均 362.2人)
南 区 体 育 館 (350日)	100,462 (1日平均 287.0人)	26,254 (383件)	126,716 (1日平均 362.0人)
手 稲 区 体 育 館 (358日)	106,484 (1日平均 297.4人)	23,360 (510件)	129,844 (1日平均 362.7人)
中 央 体 育 館 (350日)	60,038 (1日平均 171.5人)	92,027 (1,381件)	152,065 (1日平均 434.5人)
西区体育館・温水プール			
体 育 館 (347日)	140,916 (1日平均 406.1人)	33,793 (435件)	174,709 (1日平均 503.5人)
プ ー ル (337日)	123,551 (1日平均 366.6人)	0 (0件)	123,551 (1日平均 366.6人)
体育館・プール共通 (335日)	2,413 (1日平均 7.2人)	0 (0件)	2,413 (1日平均 7.2人)

清田区体育館・温水プール			
体 育 館 (350日)	117,271 (1日平均 335.1人)	18,739 (437件)	136,010 (1日平均 388.6人)
プ ー ル (336日)	96,058 (1日平均 285.9人)	25 (2件)	96,083 (1日平均 286.0人)
体育館・プール共通 (334日)	2,673 (1日平均 8.0人)	0 (0件)	2,673 (1日平均 8.0人)
中島体育センター (347日)	56,436 (1日平均 162.6人)	40,364 (997件)	96,800 (1日平均 279.0人)
宮の沢屋内競技場 (348日)	22,396 (1日平均 64.4人)	14,984 (993件)	37,380 (1日平均 107.4人)
白旗山競技場 (個79日・専109日)	4,692 (1日平均 59.4人)	17,439 (173件)	22,131 (1日平均 203.0人)
札幌市体育館グループ 合 計	1,418,246 (1日平均 4,133.8人) (前年度 1,383,928人)	431,695 (7,989件) (前年度 423,005人)	1,849,941 (1日平均 5465.1人) (前年度 1,806,933人)

②札幌市温水プールグループ運営状況

(単位：人)

区分(開館日数)	個人利用	専用利用	合計
東 温 水 プ ー ル (336日)	122,835 (1日平均 365.6人)	6 (1件)	122,841 (1日平均 365.6人)
白 石 温 水 プ ー ル (342日)	78,297 (1日平均 228.9人)	264 (7件)	78,561 (1日平均 229.7人)
厚 別 温 水 プ ー ル (337日)	131,311 (1日平均 389.6人)	146 (11件)	131,457 (1日平均 390.1人)
豊平公園温水プール (330日)	71,876 (1日平均 217.8人)	193 (17件)	72,069 (1日平均 218.4人)
手稲曙温水プール (340日)	130,722 (1日平均 384.5人)	669 (42件)	131,391 (1日平均 386.4人)
平 岸 プ ー ル (329日)	150,188 (1日平均 456.5人)	14,504 (110件)	164,692 (1日平均 500.6人)
札幌市温水プール グ ル ー プ 合 計	685,229 (1日平均 2,042.9人) (前年度 693,387人)	15,782 (188件) (前年度 22,620人)	701,011 (1日平均 2,090.8人) (前年度 716,007人)

③札幌市美香保体育館運営状況

(単位：人)

区分(開館日数)	個人利用	専用利用	合計
体 育 館 (124日)	5,870 (1日平均 47.3人)	37,305 (88件)	43,175 (1日平均 348.2人)
ス ケ ー ト 場 (157日)	34,322 (1日平均 218.6人)	6,610 (204件)	40,932 (1日平均 260.7人)
美香保公園野球場 (170日)		47,931 (1,070件)	47,931 (1日平均 281.9人)
美香保冬期雪合戦場 (14日)		123 (10件)	123 (1日平均 8.8人)
札幌市美香保体育館 合 計	40,192 (1日平均 265.9人) (前年度 39,780人)	91,969 (1,372件) (前年度 79,799人)	132,161 (1日平均 899.6人) (前年度 119,579人)

④札幌市スケート施設グループ運営状況

(単位：人)

区分(開館日数)	個人利用	専用利用	合計
月 寒 体 育 館			
体 育 室 (341日)	23,947 (1日平均 70.2人)		23,947 (1日平均 70.2人)
スケート場	39,267	68,776	108,043

	(341日)	(1日平均 115.2人)	(1,191件)	(1日平均 316.8人)
ラグビー場	(106日)		3,382 (15件)	3,382 (1日平均 31.9人)
庭球場	(186日)		6,767 (1,200件)	6,767 (1日平均 36.4人)
弓道場	(186日)	1,868 (1日平均 10.0人)	467 (8件)	2,335 (1日平均 12.6人)
星置スケート場	(351日)	14,209 (1日平均 40.5人)	30,965 (1,297件)	45,174 (1日平均 128.7人)
札幌市スケート施設 グループ合計		79,291 (1日平均 235.9人) (前年度 84,397人)	110,357 (3,711件) (前年度 120,147人)	189,648 (1日平均 596.6人) (前年度 204,544人)

⑤札幌市屋外競技場施設グループ運営状況

(単位：人)

区分(開館日数)	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場			
野球場 (134日)		159,921 (134件)	159,921 (1日平均 1,193.4人)
陸上競技場 (173日)	11,346 (1日平均 65.6人)	80,266 (591件)	91,612 (1日平均 529.5人)
庭球場 (188日)		43,046 (648件)	43,046 (1日平均 229.0人)
補助競技場 (130日)		2,434 (101件)	2,434 (1日平均 18.7人)
スケート場 (27日)	6,741 (1日平均 249.7人)	534 (2件)	7,275 (1日平均 269.4人)
円山雪合戦場 (47日)		587 (62件)	587 (1日平均 12.5人)
麻生球場			
野球場 (160日)		97,686 (138件)	97,686 (1日平均 610.5人)
庭球場 (188日)		3,525 (463件)	3,525 (1日平均 18.8人)
札幌市屋外競技場施設 グループ合計	18,087 (1日平均 315.3人) (前年度 21,661人)	387,999 (2,139件) (前年度 426,819人)	406,086 (1日平均 2,881.8人) (前年度 448,480人)

⑥札幌市スポーツ交流施設運営状況

(単位：人)

区分(開館日数)	個人利用	専用利用	合計
屋内グラウンド (349日)	59,138 (1日平均 169.4人)	621,893 (1,629件)	681,031 (1日平均 1,951.4人)
屋外テニスコート (208日)		9,089 (1,592件)	9,089 (1日平均 43.7人)
パークゴルフ場 (188日)	46,384 (1日平均 246.7人)		46,384 (1日平均 246.7人)
屋外球技場 (176日)		6,436 (122件)	6,436 (1日平均 36.6人)
イベント広場 (349日)		19,714 (19件)	19,714 (1日平均 56.5人)
札幌市スポーツ交流 施設合計	105,522 (1日平均 416.1人) (前年度 101,174人)	657,132 (3,362件) (前年度 394,967人)	762,654 (1日平均 2,334.9人) (前年度 496,141人)

⑦藤野野外スポーツ交流施設運営状況

(単位：人)

区分 (開場日数)	夏期利用人数	冬期利用人数	合計
スポーツ交流施設 (夏期：161日) (冬期：95日)	15,706 (1日平均 97.6人)	807,812 (1日平均 8,503.3人) 発券枚数[44,746枚]	823,518 (1日平均 3,216.9人)
藤野リージュ競技場 (57日)		870 (1日平均 15.3人)	870 (1日平均 15.3人)
藤野野外スポーツ交流施設合計	15,706 (1日平均 97.6人) (前年度 6,595人)	808,682 (1日平均 8,518.6人) (前年度 832,574人) 「前年度発券枚数30,717枚」	824,388 (1日平均 3,232.2人) (前年度 839,169人)

⑧札幌市健康づくりセンター運営状況

(単位：人)

区分 (開館日数)	指定管理事業	受託事業	自主事業	合計
中央健康づくりセンター (309日)	46,644 (1日平均151.0人)	2,507 (1日平均8.1人)	24,359 (1日平均78.8人)	73,510 (1日平均237.9人)
東健康づくりセンター (309日)	28,198 (1日平均91.3人)	268 (1日平均0.9人)	4,045 (1日平均13.1人)	32,511 (1日平均105.2人)
西健康づくりセンター (309日)	74,579 (1日平均241.4人)	1,110 (1日平均3.6人)	29,311 (1日平均94.9人)	105,000 (1日平均339.8人)
札幌市健康づくりセンター合計	149,421 (1日平均483.6人) (前年度148,068)	3,885 (1日平均12.6人) (前年度4,610)	57,715 (1日平均186.8人) (前年度51,146)	211,021 (1日平均682.9人) (前年度203,824人)

(単位：人)

施設合計利用者数	5,076,910
前年度利用者数	4,834,677
増減	242,233

イ. 運営管理における重点項目 (自主事業・指定管理事業)

(ア) 公平性の確保と利用促進

- 関係法令等に基づき、公平性を確保した個人利用、専用利用などに供するとともに、施設の利用促進を図るためのPR活動事業を積極的に実施した。

(イ) 施設の安全・快適な運営と高品質なサービスの提供

- 体育施設管理士・運営士、水上安全法救助員等の資格取得や救護救急、防災などの訓練を継続的に実施し、職員の資質向上を図るとともに、利用者に対する健康チェックシステム(窓口における健康度の把握)やAEDの増配などにより、運営体制と安全性の強化に努めた。
- 利用者の意見、要望、満足度を調査し、業務の改善に反映させるため、アンケート調査(札幌市の公共健康スポーツ施設に関する満足度調査)を夏季、冬季の2回実施し、その結果から、トイレ、シャワー等のアメニティ施設の改善を実施した。
- 年末年始開館数の拡大や、早朝、夜間の供用時間延長。また、トレーニング室の全面リニューアル(白石区体育館、清田区体育館・温水プール、南区体育館)を行うなど、市民サービス向上への取り組みを行った。

(ウ) コストの削減

- 施設の運営管理に当たっては、最適な状態(コスト最小、効果最大)で運営し、維持するための総合的な管理手法、いわゆるファシリティマネジメントの手法を試行的に取り入れ、施設維持管理に関わる各種仕様書、契約内容の見直しを図るとともに、施設設備の効果的な運行管理に努めた。

(エ) 環境対策

- 環境保全行動計画に基づき、省エネ電灯への切り替え、アイドリングストップや自動販売機の一括管理などを実施し、二酸化炭素排出量の削減を図った。
- 施設窓口での外靴用ビニール袋配布を廃止し、マイ靴袋の持参化を推進、また、ペットボトルキャップの回収を進め、再資源化率等の向上に努めた。

(2) 講習会・教室、大会・セミナー等の開催事業（自主・指定管理事業）

*寄附行為第4条第1、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

ア. 講習会、大会等の開催（自主・指定管理事業）

各指定管理施設において、技術の向上やスポーツと健康づくり活動の動機づけとなる各種教室及び大会・セミナーなどを実施した。

内容		事業数(件)	参加者数(人)	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】				
講習会・教室				
体育館	バドミントン、卓球、テニス、バスケットボール、エアロビクス等	1,081	13,710	
プール	水泳、水中ウォーキング、水中ヨガ等	626	9,993	
スケート場、屋外施設、他	フィギュア、カーリング体験、アーチェリー、スキー等	228	9,335	
健康づくりセンター	リラックスヨガ、ステップエクササイズ等	154	6,373	
大会・セミナー（卓球、ミニバレー、ソフトテニス大会等）		49	9,581	
小計		2,138	48,992	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】				
講習会・教室				
体育館	バドミントン、キッズテニス、幼児体操、親子あそび等	1,767	25,743	
プール	幼児・少年少女・シルバー水泳教室、水中ウォーキング等	1,080	17,752	
スケート場 屋外施設、他	アイスホッケー、キッズフィギュア、キッズランニング等	111	1,792	
健康づくりセンター	こども健康塾、高齢者マシントレーニング等	13	256	
大会・セミナー（少年少女バドミントン大会、ミニバスケット交流戦等）		2	158	
小計		2,973	45,701	
【地域コミュニティ支援事業】				
健康づくりセミナー				
介護予防セミナー（区保健福祉部等との連携事業）		1	165	
体育館等における健康セミナー（医師、保健師、管理栄養士等の派遣）		13	192	
大会・その他				
地元町内会、商工団体との連携事業として「美香保夏まつり」他2事業における物品の無償提供、イベントの運営管理等		3	—	
区市民部、保健福祉部との連携協働事業として「ニュースポーツで遊ぼう」他8事業におけるイベントの運営管理等		9	—	
環境保護、観光イベントとの連動事業として「新さっぽろ冬まつり」他9事業における必要物品の無償提供、イベントの運営管理等		10	—	
地域団体との連携事業として「豊平区体育振興会交流会」他2事業における必要物品の無償提供、イベントの運営管理等		2	—	
小計		38	—	
合計		5,149	94,693	

イ. 通年型スクール（自主事業）

利用者の拡大と顧客化を目指し、体力の向上や能力開発型、能力向上型等の付加価値を付けた通年型スクールを実施した。

内容	事業数（件）	受講者（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】			
卓球、太極拳、健康体操、水泳等	40	540	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
少年少女バドミントン、ジュニア新体操、幼児水泳、柔道等	66	1,034	
合計	106	1,574	

ウ. 施設間合同事業（自主事業）

事業規模の拡大と利用者間の親睦と交流を図るため、施設利用者を対象とした施設対抗形式のイベントや近隣施設との連携による多種目の体験講習会を実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】			
フットサルリーグ、テニストーナメント、朝野球大会、スイムフェスタ等	34	2,408	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
わくわくスポーツクラブ、少年少女バスケット交流戦等	15	398	
合計	49	2,806	

エ. 高等機関、専門機関との連携事業（自主事業）

子どもの基礎運動能力やコーディネーション・コミュニケーション能力の向上、また、高齢者世代の生きがいづくり、体力向上を図る通年型スクールを、各分野における高度な知識、経験を有する団体との協働で実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
げんきキッズ教室「北区体育館、東区体育館、厚別区体育館、清田区体育館・温水プール、中島体育センター」（札幌市、北翔大学との協働）	24	336	
さっぽろアスレティクスアカデミー「つどいむ」（元陸上選手：高野進氏が主催するアカデミーとの協働）	1	32	
さっぽろシニアスポーツ大学（札幌市、北海道大学との協働）	1	30	
合計	26	398	

オ. ウオーキングステーション・常設ウオーキングコース等の運営（自主・受託事業）

指定管理施設を拠点としたウオーキング常設コース等の設置と利用促進のモデル事業を実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】 / 【地域コミュニティ支援事業】			
厚別区体育館ウオーキングステーション 「10km×2コース」	1	360	1月～3月
スポーツ交流施設ウオーキングステーション 「10km×2コース」	1	189	〃
真駒内桜山・西岡オリエンテーリングコース「10km」	1	—	5月～11月
合計	3	549	

カ. ウィンタースポーツ・レクリエーション活性化事業（自主・受託事業）

冬季スポーツの普及・振興のため、チューブ滑りや、スノーラフティング、スノーホッケーなど、様々なメニューを提供し、外遊びの楽しさを体験してもらうとともに、地域コミュニティの支援事業として大会、講習会などを開催した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】 / 【地域コミュニティ支援事業】			

歩くスキー講習会	中島体育センター	5	83	
美香保ウインターフェスティバル	美香保体育館	2	345	
月寒わくわく雪まつり	月寒体育館	1	60	
麻生球場雪中サッカー大会	麻生球場	1	53	
雪合戦コートの貸出	円山総合運動場	62	587	
	美香保体育館	10	123	
歩くスキー無料貸出所の開設	中島体育センター	1	7,844	
歩くスキー常設コースの開設	白旗山競技場コース	1	—	
	中島公園コース	1	—	
	真駒内桜山コース	1	—	
合計		85	9,095	

(3) スポーツ・運動指導及び指導者の育成事業（自主・指定管理・受託事業）

*寄附行為第4条第1、2、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】 / 【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
保健センター、事業所等への健康運動指導士派遣	73	4,479	
体育施設運営士養成講習会（（財）日本体育施設協会との連携事業）	1	61	
体育施設管理士養成講習会（（財）札幌市体育協会との連携事業）	1	51	
競技力向上指導者講習会（（財）札幌市体育協会との連携事業）	1	74	
ウォーキング実践指導ボランティア研修会	1	63	
合計	77	4,728	

(4) 健康・体力づくり相談事業（自主・指定管理・受託事業）

*寄附行為第4条第1、4、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】 / 【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
ヘルシーライフ教室事業	28	26	
糖尿病改善、個別サポートプログラム等			
健康診断事業			
事業所健診、採用時健診、フォローアップ健診（小規模事業所等を対象とした定期健康診断等）	417	1,279	
単独特定健康診査（各保険者が行う特定健康診査を実施、また、健康度測定希望者に対しては特定簡易コースを設定）	22	22	
女性のフレッシュ健診	45	1,142	
体験型健康講座			
運動や調理実習等の実践による健康講座（親子の食育教室、女性のためのアンチエイジング等）	5	65	
国保ヘルスアップ事業（保健指導及び運動指導）	9	9	
高齢者筋力向上トレーニング事業			
要介護状態の予防を目的に、運動機能の低下している高齢者に対する筋力トレーニングマシンを使用した運動を実施。	11	81	
働き盛りの健康づくり事業（30歳～50歳の就業者を対象）	3	33	
地域雇用創造推進事業	20	145	
未就業のホームヘルパー対象の介護予防実践研修			
合計	560	2,802	

(5) 健康・スポーツ情報提供及び調査研究事業（自主事業）

*寄附行為第4条第3号に掲げる事業を次のとおり実施した。

内容	備考
地域の団体・サークル活動調査及び施設利用者への提供	財団ホームページの充実他
財団機関誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行による各種の健康・スポーツ情報の提供	年2回発行（各10,000部）
札幌市の公共健康スポーツ施設に関する満足度調査の実施・検証（調査数：2回）	①9月、②12月～1月 調査対象者：7,268人（25施設）
医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供	
札幌市医師会機関誌等の学術雑誌への発表、北海道心臓リハビリテーション研究会、循環器フォーラム、日本体力医学会大会、血管運動療法研究会、フィットネスサミット、日本公衆衛生学会等への出席及び研究発表を行った。	
ひびイタ予防モデル事業の実施	
（独）産業技術総合研究所と札幌医科大学との3者共同研究事業として、中高年者に対する身体運動機能測定と効果の検証を実施	対象者：79人

(6) 社会貢献事業（自主事業）

*寄附行為第4条第7号に掲げる事業を次のとおり実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
近隣地域の清掃活動（豊平川河川、おたね浜、円山公園等）	5	—	
地域住民に対する無料救急・救命講習会の開催（CPR、AED等）	9	—	
地域住民に対する着衣水泳、水難事故防止の無料講習等	4	—	
地域における交通安全、防犯活動（交通安全啓発活動等）	2	—	
地域における防災活動（東区合同防災訓練他）	2	—	
その他（ケアハウスへのダンス慰問他）	4	—	
合計	26		

(7) 学校施設の開放と講習会等の開催事業（自主・受託事業）

*寄附行為第4条第1、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

ア. 施設の開放（受託事業）

施設区分	体育館	グラウンド	プール	格技室	文化開放	合計
開放校（校）	289	92	203	16	16	616
開放期間	通年	5月～9月	7月～8月の日曜日	通年	通年	—
利用者数（人）	1,313,143	40,890	75,582	12,395	31,467	1,473,477

イ. 講習会の開催（自主事業）

学校開放施設を利用し、各種スポーツ教室などの地域に密着した事業を実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】			
トータルフィットネス、ヨガ講習会等	8	123	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
こども体操教室、ミニバスチャレンジ教室等	24	344	
合計	32	467	

(8) 物品販売・貸付及び飲食店業

*寄附行為第4条第7号に掲げる事業を次のとおり実施した。

内容	施設名
売店	西区体育館・温水プール、厚別温水プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、スポーツ交流施設、藤野野外スポーツ交流施設
自動販売機	全施設（中央体育館、月寒体育館、円山総合運動場、麻生球場を除く）

コインロッカー	西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール、スポーツ交流施設、白旗山競技場、中島体育センター、藤野野外スポーツ交流施設
ドライヤー	西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、白石温水プール、手稲曙温水プール、東温水プール
レストラン	スポーツ交流施設、藤野野外スポーツ交流施設
パークゴルフ用具貸出	スポーツ交流施設
スキー、スノボレンタル	藤野野外スポーツ交流施設

(9) 財団統合に伴う新規事業 (*再掲)

ア. 健康づくりセンター機能の活用事業

(単位：人)

会場	事業名	内容	参加者数	
中央健康づくりセンター	シニアスポーツ大学	初回・終回血液検査	59	
	白石区体育館メタボ改善教室		6	
	白石区体育館		メディカル	2
	清田区体育館温水プール		フィットナス	4
西健康づくり	西区体育館・温水プール	初回・終回体力測定	61	
合計			132	

イ. 医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の派遣事業

(単位：人)

事業名	内容	参加者数	
【施設プログラムサービス】			
ひざ・股関節痛のための運動教室	清田体・プ	運動指導員の派遣 (延べ数)	409
	西区体・プ	運動指導員の派遣 (延べ数)	647
トレーニング室リニューアル指導	白石体	器具取扱い、運動指導及びインボディによる健康相談	170
	清田体・プ		179
メディカルフィットネス中間栄養指導	白石体	管理栄養士の派遣 (派遣数)	1
	清田体・プ		2
ヘルシーフィットネス中間栄養指導	白石体	管理栄養士の派遣 (派遣数)	2
	清田体・プ		1
ボディメイク中間栄養指導	白石体	管理栄養士の派遣 (派遣数)	3
栄養相談	清田体・プ	管理栄養士の派遣 (派遣数)	5
財団スイムフェスタ	平岸プール	体力測定における保健相談	41
はつらつ体操	西区体・プ	運動指導員の派遣 (延べ数)	345
いきいき体操	月寒体育館	運動指導員の派遣 (延べ数)	44
星置スケート場体力測定	星置スケート場	運動指導員の派遣 (延べ数)	34
小計		1,883	
【広域プログラムサービス】			
北海道健康サメット2008	インボディによる健康相談		318
コンサドーレ札幌「スポーツフェア」	インボディ・野外エアロビクス		135
財団テニストーナメント	運動指導員による準備体操指導		250
サッポロピアガーデン「ふるさと北海道ステージ」	椅子に座ったままの簡単エクササイズ		1,000
西区介護予防フェア	脚筋力測定		150
第33回札幌マラソン大会	インボディによる健康相談		198
サッポロヘルス&ビューティフェア2008	準備体操・体力測定		959
さっぽろ雪まつり	体力測定		704
第29回札幌国際スキーマラソン大会	インボディによる健康相談		133
大倉山ウインターフェスティバル	スポーツ体験コーナー		416
小計		4,263	
合計		6,146	

【広域プログラムサービス（全市的なスポーツ・健康づくりイベントの開催や屋外フィールドを活用して展開する事業プログラム）】

(1) スポーツ・健康づくりイベント、講習会等の開催事業

*寄附行為第4条第1、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

ア. イベントの開催事業（自主・受託事業）

日ごろの運動成果を発表する場として、また、誰もが気軽に参加し、楽しめるスポーツ行事や健康の維持、促進に関わる事業を実施した。

内容	開催日	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】			
北海道健康サメット2008（第1回）	5月24日（土）	318	来場者 24,819人
アクセスサッポロで開催された健康フェアにおいて、財団活動PR事業の一環として健康測定コーナーを運営	5月25日（日）		
さっぽろトリムウオーク&トリムラン（第1回）	6月15日（日）	420	申込者 466人
真駒内公園において、自己申告タイムを競う、新しいタイプのスポーツイベントを開催			
花・水・木ウオーク2008（第4回）	6月29日（日）	529	申込者 590人
東札幌～北広島間のサイクリングロードを相互からのスタート・ゴールで行うウオーキングイベント			
第31回北海道を歩こう	9月7日（日）	1,837	申込者 2,033人
真駒内から支笏湖ポロピナイまでの自然豊かなコースを利用した33km・10kmのウオーキング大会を開催			
第33回札幌マラソン大会	10月5日（日）	11,785	申込者 12,570人
北日本最大の市民ハーフマラソン大会として、ハーフ、10km、5km、親子、車いす種目などを開催。また、ゲストに千葉真子、夏見円、広瀬哲郎氏を招請し、参加者との交流を行った。			
サッポロヘルス&ビューティフェア2008（第1回）	10月25日（土）	1,047	来場者 18,000人
アクセスサッポロで開催された健康フェアにおいて、財団活動PR事業の一環として健康測定コーナーを運営	10月26日（日）		
2009さっぽろアイスカーニバル ランランリレーマラソン（第1回）	1月18日（日）	414	申込者 456人
円山スケートリンクにおいて、日本初の氷上ランニングフェスティバルを開催			
第29回札幌国際スキーマラソン大会	2月8日（日）	2,559	申込者 2,687人
国内最高峰のクロスカントリースキー大会として、スキーマラソン50km、25kmと歩くスキー10km他を実施。ゲストにエリック・ワイナイナ氏を招請し、参加者との交流を行った。			
100Kウオーク認定	—	318	※100～500km達成者数
ウオーキングと歩くスキー大会参加者の継続性を高めるため、認定5大会のスタンプラリーを実施			
合計		19,227	

イ. 講習会・体験会の開催事業（自主・受託事業）

地域スポーツの活性化や日常のスポーツ活動の支援を目的に、イベントの企画・運営、出前講習会、指導員の派遣などを行うスポーツキャラバン事業と、四季折々の自然環境を活かした軽登山などの屋外事業を実施した。

内容	事業数（件）	参加者数（人）	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】 / 【地域コミュニティ支援事業】			

スポーツキャラバンの開催				
イベント運営請負		6	3,026	
市電フェスティバルにおけるスポーツ体験コーナーの運営等				
出前講習会		10	530	
日赤関係イベント、地域サークル、学校PTAにおける講習会の開催等				
指導員派遣	テニス・体操サークル等への指導員派遣	34	1,870	
スポーツ用具のレンタル	ストラックアウト等の貸出	-	21団体	
アウトドアキャラバン	地域への指導員派遣等	11	151	
アウトドア講習会の開催				
軽登山、自然散策、ノルディックウォーキング等の体験講習会		63	1,042	
小計		124	6,619	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】				
少年少女水泳教室				
市内20カ所の小学校プールにおける泳げない子ども(小学3～6年生)を対象とした水泳教室を開催(7月～8月の8回)		20	983	
スポーツキャラバン事業				
学習支援事業				
小学校総合学習の時間における食育、運動授業の実施		1	25	
子育て支援事業				
子育てセンターにおける食育、親子体操の実施等		8	1,019	
子ども体力向上事業				
児童会館、保育所における体操、体験会の開催等		3	433	
小計		32	2,460	
合計		156	9,079	

(2) ウィンタースポーツ・レクリエーション活性化事業(自主・受託事業)

*寄附行為第4条第1、6号に掲げる事業を次のとおり実施した。

冬季間における運動の日常化と健康づくりを促進するため、歩くスキーやポールを使用するウォーキング、また、小学生や親子を対象とした体験型の講習会などを実施した。

内容	事業数(件)	参加者数(人)	備考
【健康・スポーツライフ応援事業】 / 【地域コミュニティ支援事業】			
講習会・体験会の開催			
歩くスキー・スノーシュー講習会	7	96	
ヘルシースノーウォーキング(ポールウォーキング)	5	137	
小計	245	233	
【子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業】			
学習支援事業			
冬季宿泊学習における歩くスキーの出前講習会	10	665	
滝野青少年山の家における歩くスキー講習会の開催			
ウィンタースポーツキャラバン			
幼稚園における歩くスキーなどの体験会等の実施	10	727	
アウトドアキャラバン(地域への指導員派遣等)	6	66	
小計	26	1,458	
合計	271	1,691	

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成支援事業

*寄附行為第4条第7号に掲げる事業を次のとおり実施した。

- ・藤野野外スポーツ交流施設における総合型地域スポーツクラブ「Sports Club Sapporo」の運営委員に職員1名が就任するとともに、クラブ事務局員として職員3名を派遣し、事業の企画・立案と運営等に従事した。

(4) 協力・支援事業

*寄附行為第4条第1、7号に掲げる事業を次のとおり実施した。

- ア. 第49回札幌市民体育大会総合開会式の運営協力
- イ. 第80回宮様スキー大会国際競技会 開・閉会式及び白旗山競技場の運営協力
- ウ. 第3回水泳競技会兼泳力検定会（サッポロペンタスロン水泳記録会）の運営協力
- エ. （財）札幌市体育協会へ職員2名の派遣
- オ. 北海道マラソン事務局へ職員1名の派遣
- カ. コンサドーレ札幌（株北海道フットボールクラブ）とチームスポンサー契約の締結
- キ. プロスポーツ団体との連携事業として、コンサドーレ札幌「みんなで遊ぼうスポーツフェア」に職員及び物品の無償提供、イベントの運営管理を行った。
- ク. レラカムイ北海道（株Fantasia Entertainment）とチームスポンサー契約の締結
- ケ. 北海道日本ハムファイターズとシーズンシート契約の締結
- コ. 第60回さっぽろ雪まつり第2会場（つどーむ）の運営協力
- サ. 第10回札幌カップ国際アイスホッケー競技大会の競技役員として職員19名を派遣
- シ. 順天堂大学スポーツ健康科学部生涯学習スポーツ国際比較研究室の協力研修員の委嘱を受け、順天堂大学公開講座等において職員10名が講師を務めた。
- ス. 北翔大学との間で、学生が授業の一環としてスポーツイベントの企画、運営、アンケートの作成・集計・分析等に携わる「事業連携協力」に関わる包括協定を締結し、札幌マラソン他に延べ約80名の参画を得た。

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回理事会 平成20年4月1日 午後3時～午後3時20分 札幌市中島体育センター 出席理事10名 欠席理事5名 (うち書面表決理事0名)	(1) 役職理事の互選について	(1) 可決
第2回理事会 平成20年6月26日 午後3時30分～午後4時20分 札幌市中島体育センター 出席理事12名 欠席理事3名 (うち書面表決理事2名)	(1) 平成19年度事業報告について (2) 平成19年度収支決算及び監査報告について (3) 平成20年度収支予算の変更について (4) 平成20年度財団法人JKA補助事業の補助金交付申請書の提出について (5) 評議員の選出について	(1) 可決 (2) 可決 (3) 可決 (4) 可決 (5) 可決
第3回理事会 平成21年3月19日 午後3時30分～午後5時 札幌市中島体育センター 出席理事15名 欠席理事0名 (うち書面表決理事3名)	(1) 平成20年度収支予算の変更について (2) 平成21年度事業計画について (3) 平成21年度収支予算について (4) 規定等の改正について (5) 評議員の選出について	(1) 可決 (2) 可決 (3) 可決 (4) 可決 (5) 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回評議員会 平成20年6月26日 午後1時30分～午後2時15分 札幌市中島体育センター 出席評議員6名 欠席評議員0名 (うち書面表決評議員7名)	(1) 平成19年度事業報告について (2) 平成19年度収支決算及び監査報告について (3) 平成20年度収支予算の変更について (4) 平成20年度財団法人JKA補助事業の補助金交付申請書の提出について (5) 役員を選任について	(1) 可決 (2) 可決 (3) 可決 (4) 可決 (5) 可決
第2回評議員会 平成21年3月19日 午後1時30分～午後2時15分 札幌市中島体育センター 出席評議員13名 欠席評議員0名 (うち書面表決評議員3名)	(1) 平成20年度収支予算の変更について (2) 平成21年度事業計画について (3) 平成21年度収支予算について (4) 規定等の改正について	(1) 可決 (2) 可決 (3) 可決 (4) 可決

3. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：千円)

事業年度	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期	20年 3月期	21年 3月期
前期繰越収支差額	182,895	172,383	427,958	382,136	575,896
当期収入合計	3,864,940	4,318,429	3,853,226	4,475,198	4,731,764
当期支出合計	3,875,452	4,062,854	3,899,048	4,281,438	4,915,569
当期収支差額	△ 10,512	255,575	△ 45,822	193,760	△183,805
次期繰越収支差額	172,383	427,958	382,136	575,896	392,091
資産合計	1,057,102	1,305,927	1,658,266	2,136,060	2,185,078
負債合計	710,363	676,628	761,555	906,449	1,025,869
正味財産	346,739	629,299	896,711	1,229,611	1,159,209

4. 公認会計士の関与の有無

ア なし

イ 監査

ウ 依頼

エ 指導・相談